

報告第13号

株式会社日高振興公社第23期の決算及び第24期の事業計画に関する
書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告する。

平成29年6月15日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

決算等の状況の報告

株式会社 日高振興公社

株式会社 日高振興公社 第23期 事業報告

1 事業の経過および成果

当事業年度における国内経済は、2月に「マイナス金利政策」、9月に「量的・質的金融緩和」を実施しましたが、景気回復には繋がりませんでした。また、消費に目を向けると、GDPの約6割を支える個人消費がマイナスになっており、「現金給与総額」が上がらないことや、外国人観光客数が前年比20%以上に伸びているものの、中国人観光客の爆買いが終わり消費は落ちています。

豊岡市商工会の需要動向調査によると、旅行費用を神鍋高原で使う一人分の予算は平均費用15,790円で、「城崎」41,684円、「出石」30,163円と比較し、最も少ない金額となっています。また、日高地域における日本人来訪者発地の過半数は関西エリアが占め、3月25日、日高神鍋高原ICが開通し、阪神間の利用者のさらなる増加が見込まれます。

また、気候に目を向けると、神鍋エリアでも冬季は記録的な大雪に見舞われ、神鍋スキー場の入山者は昨年を上回り、11万3千人となりましたが（2万8千人増）、雪害による交通障害や風評被害により、集客に影響をもたらしました。

このような状況の下、当社は「地域と共に創る個性ある道の駅」を目指し、様々なイベントの実施や神鍋高原のおみやげ開発などに取り組んで参りました。

また、従業員の職務能力向上を図るため、接遇研修・兵庫県道の駅巡り、他府県の事業所に赴き、イベント集客・ランチビュッフェの演出・店舗展開等、個性ある道の駅作りのための研修を行いました。

社員会議では「道の駅」の①部門ごとの経費削減②新規イベント計画③商品開発などについて、話し合いや勉強会を適時行いました。このような取り組みを行いましたが、残念ながら、道の駅「神鍋高原」の来店客数は136,497人（前年度：162,804人）となり、26,307人減少しました。

一方、「神鍋温泉ゆとろぎ」の入館者数は73,759人（前年度：69,960人）と、3,799人増加する結果となりました。

結果、当事業年度における業績は、

売上高	205,633千円	（前年度比	21,856千円減）
営業利益	△535千円	（前年度比	2,238千円減）
経常利益	1,926千円	（前年度比	1,302千円減）
当期純利益	1,715千円	（前年度：3,018千円）	となりました。

今年度は地方創生事業や少雪対策誘致支援事業並びに豊岡市観光誘客促進緊急対策事業による特需はなく、また、トイレの改修工事、空調・厨房工事があり、売店・軽食部門の収入の減益に影響しました。しかしながら、神鍋温泉ゆとろぎの燃料費を見直し、電気会社を関西電力からタクマエナジーへ移行するとともに、館内の節電にも努めた結果、収支改善に繋がりました。

なお、部門ごとの活動状況・売上は下記のとおりです。

(1) 道の駅「神鍋高原」

① 売店部門

第1回神鍋スイカまつりを開催しました。TVで神鍋スイカが取り上げられたこともあり、予想以上に反響が大きく、7月～8月末までの販売数量は2,159個。売上額2,512千円（前年比159%）となりました。販売量を増やすために、2月にはスイカの栽培講習会を開催し、スイカ苗の共同購入も実施しました。また、前年同様、第8回神鍋高原キャベツまつりを開催し、神鍋高原キャベツを使用した商品開発に取り組み、キャベツコロッケを販売しました。販売数量は1,848個、売上金額203千円となりました。さらにキャベツ関連商品も好評で、ほんまもん神鍋も安定して売れています。

○キャベツチップ 年間販売数：6,989個 売上金額：3,132千円

○キャベツアイス 年間販売数：1,008個 売上金額：232千円

○キャベツキムチ 年間販売数：364個 売上金額：91千円

○ほんまもん神鍋 年間販売数：14,159袋 売上金額：9,204千円

“道の駅「神鍋高原」でしか購入できない商品”と位置付け、他店舗との戦略商品としてPB化を図りました。

② 飲食部門

「全但バス神鍋線利用促進イベント」を開催し、「神鍋春物語男子会編」と称した男性向けバーベキューを20年ぶりに屋上ビアホールで開催しました。昨年度、好評だった「神鍋冬物語女子会編」と称した女性向けの鍋コース料理は地域連携として、西気明日のいしずえ会（西気コミュニティ）が栽培した大根を使ったみぞれ鍋を提供しました。平日の集客に向け、9月から月替わり定食を始めました。その結果、販売数量922食。売上金額738千円となり、定食の中では一番人気の料理となりました。また、ランチビュッフェでは、収支改善のため、5月より料金改定を行い、11月からシルバー料金1,000円を新たに加え、シニア層利用促進に努めました。12月には設備機器の改修工事を行い、厨房の漏水や空調機器などの問題が解決し、作業効率が高まりました。ホールのシートを明るい色に張り替え、店内の印象が大きく変わりました。

また、5月から営業時間を短縮し、効率的な運営に努め、経費削減に繋がりました。

③ 神鍋温泉ゆとりぎ部門

地域連携として4月は但東チューリップまつりのチューリップ湯、10月は神鍋産のりんご湯など、見た目も香りも楽しんでいただく季節湯を毎月2回行いました。7～8月は中庭にビニールプールを設置し、子供たちに入浴以外の楽しみを提供しました。9月・3月は15枚綴りの特別回数券を販売し、リピーターに向けた購入促進サービスを行いました。7月フォレストアドベンチャー奥神鍋（252名利用）、10月パラグライダースクール（18名利用）と提携し、利用者促進を行いました。スキーリフト券利用者の割引サービス（8,917名利用）は非常に効果がありました。

また、定期的に臨時休館日を設け、清掃や機械メンテナンスを行い、お客様に気持ち良く利用していただけるように、衛生面・設備面での管理を強化しました。

2 事業実績

売上高の推移

単位：千円

区 分	第 21 期	第 22 期	第 23 期
売店部門	137,123	141,525	120,993
飲食部門	43,813	42,041	40,755
温泉部門	41,605	39,544	39,808
市受託料	4,398	4,379	4,077
合 計	226,939	227,489	205,633

営業成績、財産状況の推移

単位：千円

区 分	第 21 期	第 22 期	第 23 期
経常利益	9,679	3,228	1,926
当期純利益	9,469	3,018	1,715
総資産	30,721	31,722	32,137
純資産	11,471	14,489	16,204

3 会社の概要

(1) 資本金

資本金	36,000,000 円
-----	--------------

(2) 株式の状況

発行済株式総数	720 株
うち豊岡市保有分	400 株

(3) 役員の状況

役職名	役員名
代表取締役	笠 原 泰 藏
専務取締役	久 田 喜三郎
取 締 役	太田垣 秀 典
取 締 役	小田根 厚 芳
取 締 役	和 藤 久 喜
取 締 役	北 村 豊 治
監 査 役	井 上 隆 俊
監 査 役	廣 田 勝 彦

(4) 社員（従業員）の状況

区分	人数	構成
社 員	6	男性 3 人、女性 3 人
パート	12	男性 1 人、女性 11 人
計	18	男性 4 人、女性 14 人

決 算 報 告 書

第 2 3 期

自 平成 2 8 年 4 月 1 日

至 平成 2 9 年 3 月 3 1 日

株式会社 日高振興公社

豊岡市日高町栗栖野 5 9 番地 1 3

貸 借 対 照 表

自 平成 28 年 4 月 1 日
至 平成 29 年 3 月 31 日

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	円	(負債の部)	円
【流 動 資 産】	【25,005,815】	【流 動 負 債】	【14,932,935】
現 金 及 び 預 金	19,774,301	買 掛 金	2,460,436
売 掛 金	452,782	受 託 未 払 金	3,374,478
商 品	1,032,586	未 払 金	6,760,772
原 材 料	329,379	預 り 金	29,949
貯 蔵 品	1,101,493	預 り 敷 金	150,000
未 収 入 金	2,315,274	法 人 税 等 充 当 金	213,200
【固 定 資 産】	【7,131,247】	未 払 消 費 税	1,944,100
(有形固定資産)	(6,749,197)	【固 定 負 債】	【1,000,000】
建 物	4,484,518	長 期 借 入 金	1,000,000
建 物 付 属 設 備	432,983	負債合計	15,932,935
車 両 運 搬 具	2	(純資産の部)	円
工 具 器 具 備 品	1,483,448	【株 主 資 本】	【16,204,127】
一 括 償 却 資 産	348,246	[資 本 金]	[36,000,000]
(無形固定資産)	(379,050)	[利 益 剰 余 金]	[△19,795,873]
ソ フ ト ウ ェ ア	379,050	利 益 準 備 金	9,000,000
(投資その他資産)	(3,000)	(その他利益剰余金)	(△28,795,873)
出 資 金	3,000	繰 越 利 益 剰 余 金	△28,795,873
		(うち当期純利益)	(1,714,940)
		純資産合計	16,204,127
資産合計	32,137,062	負債・純資産合計	32,137,062

損 益 計 算 書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

科 目	金 額	額
【売上高】		円
売店売上	120,992,670	
市事業委託料等	4,077,026	
レストラン売上	40,754,790	
温泉売上	39,808,119	205,632,605
【売上原価】		
期首棚卸高	2,437,457	
仕入高	86,070,506	
材料費	17,145,275	
合計	105,653,238	
期末棚卸高	1,361,965	104,291,273
売上総利益		101,341,332
【販売費及び一般管理費】		101,876,686
営業利益		△535,354
【営業外収益】		
受取利息	1,241	
雑収入	2,474,738	2,475,979
【営業外費用】		
支払利息・割引料	13,599	
雑損失	900	14,499
経常利益		1,926,126
【特別損失】		
固定資産除却損	2	2
税引前当期純利益		1,926,124
法人税等充当額		211,184
当期純利益		1,714,940

販売費及び一般管理費内訳書

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

科 目	金 額	円
役 員 報 酬 給 料 手 当 福 利 厚 生 費 雑 給 シ ル バ - 委 託 費 広 告 宣 伝 費 運 賃 燃 料 費 衛 生 費 一 括 資 産 償 却 費 水 道 光 熱 費 会 議 費 事 務 費 消 耗 品 費 地 代 家 賃 支 払 保 険 料 修 繕 費 租 税 公 課 減 価 償 却 費 接 待 交 際 費 旅 費 交 通 費 通 信 費 支 払 手 数 料 貸 借 料 諸 会 費 購 読 費 雑 費	4,313,800 33,249,075 6,354,910 6,322,620 3,159,018 4,034,019 208,040 5,860,596 7,067,082 225,756 12,941,102 91,490 1,397,745 4,073,793 48,100 500,169 1,243,335 4,206,350 1,285,142 387,715 170,323 439,090 2,610,738 1,091,752 494,000 22,829 78,097	
合 計		101,876,686

株主資本等変動計算書

自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日
(単位 円)

	株主資本							評価・換算 差額等合計	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計			
		資本準備金	他資本剰余金	利益準備金	他利益剰余金					
当期首残高	36,000,000			9,000,000	△ 30,510,813		14,489,187		14,489,187	
当期変動額										
剰余金の内訳科目間の振替										
剰余金の配当										
当期純利益					1,714,940		1,714,940		1,714,940	
当期変動額合計					1,714,940		1,714,940		1,714,940	
当期末残高	36,000,000			9,000,000	△ 28,795,873		16,204,127		16,204,127	

	利益剰余金の内訳					利益剰余金合計
	利益準備金	退職給付 積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	9,000,000			△ 30,510,813	△ 21,510,813	
当期変動額						
剰余金の内訳科目間の振替						
剰余金の配当						
当期純利益				1,714,940	1,714,940	
当期変動額合計				1,714,940	1,714,940	
当期末残高	9,000,000			△ 28,795,873	△ 19,795,873	

個別注記表

自 平成 28 年 4 月 1 日
至 平成 29 年 3 月 31 日

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・原材料・貯蔵品 …… 最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …… 平成 10 年 4 月 1 日以後に取得した建物及び平成 28 年
4 月 1 日以後に取得した建物附属設備・構築物は定額
法、それ以外は定率法

無形固定資産 …… 定額法

(3) 収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

(4) 消費税の会計処理

税込方式で計上している。

2 貸借対照表等に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額 34,227,921 円

3 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末日における発行済株式の数	720 株
当事業年度末日における自己株式の数	0 株

4 一株当たり情報に関する注記（平成 29 年 3 月 31 日現在）

純資産額	22,505 円 73 銭
当期純利益	2,381 円 86 銭

監 査 報 告

私達監査役は、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの第 23 期事業年度の貸借対照表、損益計算書、株主資本変動計算書、個別注記表、事業報告および付属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

平成 29 年 5 月 19 日

監 査 役 井 上 隆 俊

監 査 役 廣 田 勝 彦

第24期（次期）事業計画及び収支計画

事業計画

2017年の個人消費は緩やかな回復基調にありますが、依然として個人消費はマイナスになっており、消費の落ち込みが懸念されます。また、インバウンド需要は持ち直してきましたが、中国人観光客の爆買いが終わり、消費は落ちています。

「道の駅」は発足から24年。2017年4月現在で昨年から24駅増え、登録数1,117駅になり、休憩機能などの基本的機能の他に、防災機能や地方創生の拠点としても期待され、生活に欠かせないインフラになりつつあります。また、3月25日に日高神鍋高原ICが開通し、交通量の増加により、集客、売上増加に期待がもてます。

神鍋高原では、6月の神鍋高原マラソン全国大会や7月の神鍋火山まつりなど大きなイベントが計画されています。

夏季のスポーツ大会・冬季のスキーの他に、団塊の世代を中心に溶岩流ウォークやノルディックウォークなど、ウォーキングと自然散策を合わせた新しいスタイルが徐々に増えています。

当社では、事業推進の柱に“神鍋火山群がもたらした財産”である神鍋山、風穴、溶岩流、黒ボク土を活かした事業を展開いたします。

また、神鍋線200円バスの利用促進を兼ねた神鍋ビアナイトやキャベツまつり、昨年度から始めた神鍋スイカまつり等のイベント開催などにより、地域との良好な関係づくりに取り組んでまいります。

温泉部門でも、但東チューリップまつりに因んだチューリップ湯や神鍋産のりんごを使ったりんご湯など、見た目も香りも楽しんでいただく季節湯の日を設け、地域と連携しながら、お客様の快適性・利便性を向上させるとともに、併せて経営の効率化を図ってまいります。

さらに、「神鍋ほっこり通信」を毎月発行するとともに、ブログ・フェイスブックなど、多様なチャンネルを利用して情報発信します。

また、スパイスなど地元情報誌や関西ウォーカーなど旅行誌の活用のほか、TV・新聞各社に対しても積極的に情報の提供を行ってまいります。

以上のような活動により、地域と共に創る個性ある道の駅を目指し、地域の話題や賑わいの中心的存在となるよう取り組んでまいります。

予定損益計算書

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

科 目	金 額	
(営業損益の部)		円
【売上高】		
売 上	214, 000, 000	
受 託 料 等	4, 400, 000	
		218, 400, 000
【売上原価】		
期 首 棚 卸 高	1, 362, 000	
材 料 費	18, 100, 000	
仕 入 高	91, 100, 000	
合 計	110, 562, 000	
期 末 棚 卸 高	1, 400, 000	109, 162, 000
売 上 総 利 益		109, 238, 000
【販売及び一般管理費】		108, 000, 000
営 業 利 益		1, 238, 000
(営業外損益の部)		
【営業外収益】		
受 取 利 息	1, 000	
雑 収 入	2, 000, 000	2, 001, 000
【営業外費用】		
支 払 利 息 等	10, 000	
雑 損 失	10, 000	20, 000
経 常 利 益		3, 219, 000

予定販売費及び一般管理費内訳書

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

科 目	金 額	円
役 員 報 酬	4,200,000	
給 料 手 当	36,000,000	
退職給与引当金戻入	0	
福 利 厚 生 費	6,300,000	
雑 給	6,300,000	
シ ル バ ー 委 託 費	3,000,000	
広 告 宣 伝 費	4,000,000	
運 賃	200,000	
燃 料 費	6,300,000	
衛 生 費	7,000,000	
水 道 光 熱 費	14,300,000	
会 議 費	100,000	
事 務 費	1,500,000	
消 耗 品 費	4,000,000	
地 代 家 賃	40,000	
支 払 保 険 料	550,000	
修 繕 費	2,000,000	
租 税 公 課	4,600,000	
減 価 償 却 費	1,100,000	
接 待 交 際 費	340,000	
旅 費 交 通 費	180,000	
通 信 費	450,000	
支 払 手 数 料	2,500,000	
貸 借 料	1,400,000	
諸 会 費	500,000	
購 読 費	40,000	
雑 費	100,000	
備 品	1,000,000	
合 計		108,000,000

報告第14号

株式会社シルク温泉やまびこ第13期の決算及び第14期の事業計画に
関する書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のと
おり報告する。

平成29年6月15日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

決算等の状況の報告

株式会社 シルク温泉やまびこ

株式会社シルク温泉やまびこ 第13期 事業報告

1 事業の概要と成果

前期、2月より実施しておりました大規模リニューアル工事は7月29日に完了し、7月31日に無事グランドオープンを迎えることができました。今期は4月から7月までの4ヵ月間に及ぶ工事に伴う減収を当初25,000千円と予測していましたが、宿泊訳ありプランや、臨時営業による軽食等の販売により、前期比△15,232千円となり、当初予測より9,700千円好転することができました。

4ヵ月休業の売上マイナス分を補うべく、秋以降の売上予算のハードルを高くして、前期より15,362千円アップを目指して取り組みましたが、内部の構造改革が中心となり、積極的な営業展開を行うことができませんでした。

下半期からは目標経常利益の達成に重点をおいて取り組み、12月までは順調に推移しておりましたが、1月末からの大雪の影響で客足が遠のき、経常利益は当初予算に対して、達成には至りませんでした。

全施設の利用者数は、162,341人、前期比90.5%、総売上高360,405千円、前期比95.9%となり、来客数に比例し売上額は減少しました。

各部門の利用者数は、宿泊・休憩部門17,756人、前期比102.0%、温泉部門では142,448人、前期比89.3%、自然の郷では2,137人、前期比88.3%となりました。

次に部門別の売上高が、宿泊部門185,224千円、前期比104.4%、温泉79,760千円、前期比91.0%、売店部門50,850千円、前期比79.6%、食堂部門26,973千円、前期比98.6%、自然の郷部門7,153千円、前期比91.2%となりました。

販売管理費においては、あらゆる効率的な合理化を行った結果、当初予算に対して10,604千円好転しました。

この結果、営業利益は△10,629千円、営業外収益6,573千円となり、今期経常利益は△4,056千円、税引き後の当期純利益は△4,269千円でした。

予算未達成の主な要因は温泉・売店の減収です。屋号名称の変更と、リニューアル効果により、宿泊・宴会は大きな効果がありましたが、ロビーがホテルタイプになったことにより、従来の温泉利用客より気軽に利用できないという印象を持たれ、特に女性客の減少が尾を引きました。構造改革は本年度でほぼ完了しましたので、来期は積極的な営業展開とおもてなしの強化で従来の顧客の囲い込みを行い、増収増益に結ぶよう取り組んでまいります。

今期はリニューアルに伴う内部の構造改革で従業員の退職が続き、株主様をはじめ地域の皆様にご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

2 事業実績

売上高の推移

(単位：千円)

区 分	第 11 期	第 12 期	第 13 期
宿泊部門	165,415	177,432	185,224
売店部門	63,358	63,866	50,850
食堂部門	28,502	27,351	26,973
温泉部門	84,399	87,656	79,760
自然の郷部門	7,998	7,842	7,153
フィールドゴルフ部門	400	548	378
業務委託部門	7,535	7,504	6,542
自販機売上		3,439	3,527
合 計	357,607	375,638	360,405

営業成績、財産状況の推移

(単位：千円)

区 分	第 11 期	第 12 期	第 13 期
営 業 利 益	1,255	7,101	△10,629
当 期 純 利 益	1,040	6,886	△4,269
総 資 産	93,349	94,852	91,872
純 資 産	68,849	75,735	71,466

3 会社の概要

(1) 資本金

資本金	50,000,000 円
-----	--------------

(2) 株式の状況

発行済株式総数	1,000 株
うち豊岡市保有分	510 株

(3) 役員の状況

役 職 名	奥 田 清 喜
代表取締役	植 田 安 雄
取 締 役	森 友 敏 則
取 締 役	永 井 辰 正
取 締 役	福 田 茂
取 締 役	谷 岡 慎 一
監 査 役	井 上 隆 俊
監 査 役	柴 田 誠 一

(4) 社員（従業員）の状況

区 分	人 数	構 成
社 員	20	男性 14 人、女性 6 人
パート・嘱託	5	男性 1 人、女性 4 人
計	25	男性 15 人、女性 10 人

決 算 報 告 書

第 13 期

自 平成28年 4月 1日

至 平成29年 3月31日

株式会社 シルク温泉やまびこ

兵庫県豊岡市但東町正法寺165

貸 借 対 照 表

(単位：円)

株式会社 シルク温泉やまびこ

平成29年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 87,050,152】	【流 動 負 債】	【 20,405,954】
現金及び預金	77,654,850	買 掛 金	9,452,340
売 掛 金	3,491,049	未 払 金	9,063,937
商 品 券	6,500	前 受 金	82,000
商 品	1,516,310	預 り 金	54,577
貯 蔵 品	1,201,409	法人税等充当金	211,500
未 収 入 金	3,117,034	未 払 消 費 税	1,541,600
前 払 費 用	63,000	負債の部計	20,405,954
【固 定 資 産】	【 4,821,775】		
(有形固定資産)	(3,550,756)		
建 物	1,357,987	純 資 産 の 部	
建物付属設備	1,334,961		
構 築 物	54,780	【株 主 資 本】	【 71,465,973】
車 両 運 搬 具	8,168	[資 本 金]	[50,000,000]
工 具 器 具 備 品	265,984	[利 益 剰 余 金]	[21,465,973]
一括償却資産	528,876	利 益 準 備 金	12,500,000
(無形固定資産)	(621,019)	(その他利益剰余金)	(8,965,973)
敷 金	126,000	別 途 積 立 金	12,000,000
ソフトウェア	495,019	繰越利益剰余金	△3,034,027
(投資その他の資産)	(650,000)	(うち当期純利益)	(△4,268,906)
出 資 金	650,000	純資産の部計	71,465,973
資産の部計	91,871,927	負債・純資産の部計	91,871,927

損 益 計 算 書

(単位：円)

自 平成28年 4月 1日

株式会社 シルク温泉やまびこ

至 平成29年 3月31日

科 目	金 額	
【売 上 高】		
宿 泊 売 上 高	185,223,556	
売 店 売 上	50,849,719	
食 堂 売 上	26,972,633	
温 泉 売 上	79,759,514	
自 然 の 郷 売 上	7,153,140	
フ ィ ー ル ド 売 上	377,800	
業 務 委 託 売 上	6,542,276	
自 販 機 売 上	3,526,822	360,405,460
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	836,388	
仕 入 高	125,621,817	
材 料 仕 入	9,037,698	
飲 料 仕 入	7,149,467	
合 計	142,645,370	
期 末 棚 卸 高	1,516,310	141,129,060
売 上 総 利 益		219,276,400
【販売費及び一般管理費】		229,905,515
営 業 利 益		Δ10,629,115
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	9,079	
雑 収 入	6,564,125	6,573,204
経 常 利 益		Δ4,055,911
税引前当期純利益		Δ4,055,911
法人税等充当額		212,995
当 期 純 利 益		Δ4,268,906

販売費・一般管理費内訳書

(単位：円)

自 平成28年 4月 1日

株式会社 シルク温泉やまびこ

至 平成29年 3月31日

科 目	金 額	
役 員 報 酬	3,210,000	
給 料 手 当	75,485,058	
法 定 福 利 費	10,869,826	
福 利 厚 生 費	2,632,840	
シルバー委託費	7,756,845	
広 告 宣 伝 費	8,538,489	
運 賃	166,328	
サ ー ビ ス 費	1,152,912	
燃 料 費	13,688,854	
衛 生 費	17,041,981	
リ ー ス 料	169,560	
外 注 費	6,946,182	
水 道 光 熱 費	28,766,374	
事 務 費	2,047,656	
消 耗 品 費	6,364,961	
地 代 家 賃	31,500	
支 払 保 険 料	1,135,624	
修 繕 費	17,055,297	
租 税 公 課	8,730,150	
減 価 償 却 費	1,732,718	
一括償却資産償却額	575,316	
接 待 交 際 費	1,098,269	
旅 費 交 通 費	249,015	
通 信 費	2,202,868	
支 払 手 数 料	6,158,751	
賃 借 料	3,758,531	
諸 会 費	460,450	
購 読 費	205,983	
雑 費	1,673,177	
合 計		229,905,515

株主資本等変動計算書

株式会社 シルク温泉やまびこ

自平成28年4月1日
至平成29年3月31日

(単位:円)

(単位: 円)										至 平成29年 3月31日				
株 本			主 資 本				株 主 資 本 計 合 計		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		新 株 予 約 権		純 資 産 合 計	
			資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	利 益 準 備 金								
資 本 金			50,000,000				12,500,000	13,234,879		75,734,879				75,734,879
当期首残高														
当期変動額														
当期利益														
当期変動額合計														
当期末残高			50,000,000				12,500,000	8,965,973		71,465,973				71,465,973

	利益剰余金の内訳	
	利益剰余金	利益剰余金
当期首繰上	12,500,000	繰越利益剰余金
当期変動額	5,000,000	利益剰余金合計
剰余金の内訳科目間の振替		25,734,879
当期純利益	7,000,000	
当期変動額合計	7,000,000	
当期末繰上	12,500,000	
当期末残高	12,000,000	

個 別 注 記 表

株式会社 シルク温泉やまびこ

自 平成28年 4月 1日

至 平成29年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成している。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・商品 …………… 最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …… 平成10年4月1日以後に取得した建物は定額法、
それ以外は定率法

無形固定資産 …… 定額法

収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 …………… 税込方式で計上している。

2. 貸借対照表に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額 …… 26,305,051 円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

①当事業年度末日における発行済株式の数 …………… 1,000 株

②当事業年度末日における自己株式の数 …………… 0 株

③当事業年度末日に行う剰余金の処分に関する事項

平成29年6月8日開催予定の定時株主総会において決議を予定している。

別途積立金の取崩額 …………… 4,000,000 円

次期繰越利益剰余金 …………… 965,973 円

4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額 …………… 71,465 円 97 銭

1株当たりの当期純利益金 …………… △4,268 円 90 銭

監 査 報 告

私監査役は、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの
第 13 期事業年度の貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記
表、事業報告および付属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを
認めます。

平成 29 年 5 月 16 日

監査役 井 上 隆 俊

監査役 柴 田 誠 一

第14期事業計画案及び予定損益計画案

1.事業計画案

ホテルシルク温泉やまびこの基本方針「ほっこりとしたふれあい」を念頭におき、人、街、会社が元気になるように、社員のモチベーションを向上させ、いつも笑顔でお客様に喜んでいただける接客をまいります。

予算計画

総売上 403,600千円 (前年実績 360,405 千円、 43,195 千円増)
営業利益 30千円 (前年実績 △10,629 千円、 10,659 千円増)
経常利益 4,590千円 (前年実績 △4,056 千円、 8,646 千円増)

今期の最重要施策

- 1 地域の方々との連携を密にし、来館しやすい環境、より喜んでいただけるホテルシルク温泉やまびこを目指してまいります。
- 2 新たに京阪神地区、三たん地区、中国・四国地区の担当を決め営業を強化し、団体、個人客の誘致により宿泊、日帰りの売上増を目指してまいります。

今期の具体的な取り組み

- 1 宿泊では、販路を多様化し、稼働率を常に考え当日まで1室でも多く販売し増収に努めてまいります。
冬季のみ夕食は特別メニュー(かに料理)を販売し単価アップを計ってきましたが、通期で新たに但馬牛会席(ヒレ肉)コースを用意し単価アップに努めてまいります。
- 2 売店では、野菜マルシェを毎月第二土曜日、日曜日に開催し、より多くの方々に集まっていただき、生産者、お客様双方に喜んでいただける場を増やし増収に努めてまいります。
- 3 食堂では、常にお客様目線でマンネリ化しないメニュー作りを心がけ増収に努めてまいります。
- 4 温泉では、昼の休憩場所を増設、心身共にリラックスできる空間を作り、新たなリピーターの確保、また日帰り温泉団体客の誘致活動により増収に努めてまいります。
- 5 費用面では、濾過器改修工事により、9月以降のメンテナンス料、電気使用量の削減に努めてまいります。

昨期後半から高騰が続いています燃料費が懸念されますが、社員一丸となり予算達成に取り組んでまいります。

株主様をはじめ、皆様方の格別のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2. 予定損益計画案

予 定 損 益 計 算 書

株式会社 シルク温泉やまびこ

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

科 目	金 額	
【経常利益の部】		千円
(営業損益の部)		
【売上高】		
売上高	403,600	
		403,600
【売上原価】		
期首棚卸高	1,516	
仕入高	159,684	
合 計	161,200	
期末棚卸高	600	160,600
売上総利益		243,000
【販売費及び一般管理費】		242,970
営業利益		30
(営業外損益の部)		
【営業外収益】		
受取利息	0	
雑収入	4,560	4,560
経常利益		4,590

販売費及び一般管理費内訳書

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

科 目					金 額
					千円
役 員 報 酬					3,270
給 料 手 当					80,000
法 定 福 利					11,270
福 利 厚 生					3,700
シ ル バ ー 委 託					8,700
広 告 宣 伝					8,400
運 賃					150
サ ー ビ ス 費					1,200
燃 料 生 産 費					15,400
衛 生 費					18,800
リ ー ス 料					170
外 注 費					9,000
水 道 光 熱 費					30,000
会 議 研 修 費					200
事 務 費					2,160
消 耗 品 費					4,800
支 払 保 険 料					1,150
修 繕 費					14,320
租 税 公 課					10,000
減 価 償 却 費					1,740
接 待 交 際 費					1,200
旅 費 交 通 費					240
通 信 費					2,400
支 払 手 数 料					7,900
賃 借 料					3,500
諸 会 費					500
購 読 費					240
地 代 家 賃					760
貸 倒 引 当 金 戻 入					-
貸 倒 引 当 金 繰 入					-
雑 費					1,800
合 計					242,970

第88号議案

業務委託契約の締結について

基幹情報システム(MISALIO)更新業務について、下記のとおり業務委託契約を締結する。よって、豊岡市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（平成17年豊岡市条例第55号）第3条の規定により、議会の議決を求める。

平成29年6月15日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

記

- | | |
|-----------|---|
| 1 契約の目的 | 基幹情報システム(MISALIO)更新業務 |
| 2 契約の方法 | 随意契約 |
| 3 契約の金額 | 96,551,998円 |
| 4 契約の相手方 | 兵庫県姫路市南駅前町100番地 姫路パラシオ第2ビル
富士通株式会社 姫路支店
支店長 中 原 啓 介 |
| (備考) 履行期限 | 平成30年3月30日 |

参考資料

基幹情報システムの概要

品目	数量
住民記録システム	一式
印鑑登録システム	一式
国民健康保険（資格管理）システム	一式
国民健康保険税システム	一式
国民年金システム	一式
個人住民税システム	一式
法人住民税システム	一式
軽自動車税システム	一式
固定資産税システム	一式
宛名管理システム	一式
税収納管理システム	一式
学齢簿システム	一式
選挙人名簿・国民投票人名簿システム	一式
住基 GW サーバシステム	一式
福祉医療システム	一式
総合窓口システム	一式
機器	一式

機器の内訳

品目	数量
サーバー	2 台
日本語ラインプリンター	1 台
クライアントパソコン	131 台
ページプリンター	31 台

第89号議案

監査委員の選任につき同意を求めることについて

次の者を監査委員に選任したいから、地方自治法（昭和22年法律第67号）第196条第1項の規定により、議会の同意を求める。

平成29年6月15日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

記

住 所	兵庫県豊岡市
氏 名	中嶋 英樹
年 齢	満 歳

（備考）上野 和美 平成29年6月25日任期満了

中嶋 英樹 任期：平成29年7月1日から平成33年6月30日まで